



吉井田小 校章
昭和39年制定

令和元年度 学校通信 No. 10 [2019.12.23]

笑顔が輝く学校

野 菊

福島市立吉井田小学校
児童数 461名(8/22)
発行者 校長 遠藤嘉人

第2学期お世話になりました

令和元年度第2学期が終了しました。12月にはインフルエンザが流行し、学級閉鎖を行うなど蔓延防止に努めましたが、なかなか防ぐことが困難でした。その中でも保護者の皆様には、子どもたちの健康に気配りをいただき、ありがとうございました。

2学期を振り返りますと、様々な良いことが思い出されます。

- 9月：水泳記録会では、子どもたちが自分の記録に挑戦し、少し速く、長く泳ぐことができるようになりました。
- ：6年生の修学旅行では、劇団四季の「アラジン」を観劇し、超一流に触れることができました。
- ：PTA バザーコスモス祭では、お父さんお母さん方の大活躍に圧倒されました。
- 10月：市体育大会陸上競技大会では、全ての子どもたちが持てる力を十二分に発揮し、総合第2位となりました。打倒大森小に向けて、すでに朝練が始まっています。
- ：学習発表会では、それぞれの学年が持ち味を発揮し、生き生きとした表情で演技をすることができました。
- 11月：校内持久走記録会では、水泳記録会同様に自分の記録に挑戦し、必死の表情で走る姿に感動しました。さらに、一生懸命走る友だちを応援する姿に、子どもたちの温かさを感じることができました。
- 12月：校舎内・体育館のトイレの洋式化工事が、3月までの工事期間で始まりました。今年度は、トイレの入り口にカーテンを設置して男女の区別をはっきりさせました。今回の工事は、便器を洋式に変更する工事のみで床や配管の工事は含まれていませんので、臭い等が改善されるかどうかは、不明な点が残ります。
- 校庭に設置してあります「開放用トイレ」の洋式化工事が、始まります。校舎内同様、便器が洋式に変更されます。
- 第47回マーチングバンド全国大会に出場したマーチングバンド部は、すばらしい演奏演技で、「銀賞」をいただきました。

番外編1：お父さん、お母さん方も頑張りました

1学期ですが、お父さん方は、市連Pソフトボール大会で準優勝。

お母さん方は、12月の家庭バレーボール大会で、第3位となりました。

番外編2：「日本スポーツ協会賞」いただきました

2017年から、東京2020教育プログラムオリンピック・パラリンピック教育実施校(ようお願い、ドン!スクール)として、いろいろな場面で東京オリンピック・パラリンピックに関連

した取組をしてきました。

今年度は、春に行った運動会「2019吉井田オリンピック」において「東京オリンピック音頭」を全校で踊ったり、パラリンピックにちなんだ競技を盛り込んだりして東京オリンピック・パラリンピックを盛り上げてきました。

その取組を「東京2020みんなのスポーツフェスティバル」という全国コンテストに応募しました。これは、大会組織委員会が主催するもので、東京2020大会をもっと身近に感じ取ることができる場となるよう、運動会等におけるオリンピック・パラリンピックに関連した取組を募集するものです。

審査は、マラソンの高橋尚子さんが委員長を務める組織委員会のアスリート委員会などが行い、優秀な取組をした学校を選定するものです。

そこで何と本校の取組が高く評価され、全国でわずか10校しかない「優秀賞」に選ばれ、なおかつ5校しか選ばれない特別賞「日本スポーツ協会賞」をいただくことができました。

子どもたち、先生方の努力が、すばらしい形で報われました。

副賞として、審査委員長高橋尚子さんの直筆のサインが入った、「東京2020みんなのスポーツフェスティバル」のロゴ入りリレーバトンをいただきました。



番外編3：「聖火リレー」を盛り上げます

来年は、東京2020オリンピック・パラリンピック本番の年です。

3月27日には、「聖火リレー」が福島市に入り出発式が行われます。聖火リレーには、本校の代表児童1名が伴走者として走ります。そして、マーチングバンド部の華やかな演奏で出発式を盛り上げる予定になっています。

このように、第2学期は子どもたち、先生方、お父さんお母さん方が、それぞれに一生懸命頑張った学期でした。

しかし、時には、うまくいかなかったことや心配なこと、悩んだこともたくさんあったことと思います。「子どもにとって、何が一番いいのか」を判断するときの基本として、これからも学校・学級を進めていきたいと思っています。2学期間、たいへんお世話になりました。ありがとうございました。

校長室の扉は、いつも開いています。何かありましたら、いつでもお越しください。コーヒーでも差し上げます。

～第2学期終業式 校長の話より～

おはようございます。今日で2学期も最後ですね。皆さんにとってはどんな2学期だったでしょうか。2学期にはいろいろな行事がありました。校内水泳記録会や持久走記録会では、歯を食いしばって泳ぐ姿、前の人を追い抜こうとして必死に走る姿が見られました。

学習発表会では、一人一人が大きな声で堂々と演技することができました。校長先生もスポットライトをあてながら、皆さんの演技に拍手を送っていました。

さて、皆さん一人一人に2学期を振り返ってもらいたいと思います。何を振り返ってほしいかという「形」についてです。

形って何？と思いますよね。皆さんは、「外側よりも中身が大事」という言葉を聞いたり、言われたりしたことはありませんか。それはその通りで、中身が大事なことはもちろんですが、外側も大事です。形とは、外側のことです。

外側がきちんとしてくると、いつの間にか中身もきちんとしてくるのです。ですから、中身をきちんとするためにも、形をきちんすることも大事なことなのです。

ちょっと前のことになりますが、サッカー U-17 の各国の代表選手が、ヨーロッパで行われた大会に参加した時の話です。その大会には、スペインやブラジル、アルゼンチンなど世界でも強豪と言われる国々はもちろん、日本代表も参加していました。当然ながら、その選手の中には、世界でも有名なクラブチームに所属して活躍している選手もたくさんいました。

ある朝のことです。朝食をとるために各国の選手たちがレストランに集まってきました。代表選手たちは、皆、髪の毛をきれいに整え、おそろいのブレザーとズボンにネクタイをきっちり閉め、きれいに磨かれた革靴をはいて現れました。そして、あいさつは、英語で…。

その中にある国の代表選手が現れました。今起きたばかりに髪はぼさぼさ、ジャージを着て、おまけにファスナーは開けっ放し、サンダル履きに手をポケットに突っ込んだまま、あいさつは英語で…ではなく「チューッス」。この選手たちは、何と日本代表でした。その様子を見た監督の風間さんは、目を覆い、大きくため息をつきました。(監督さんは、何を思ったでしょうね。)

日本の代表チームですから、そんなに弱いはずはありませんよね。でも、もう形で負けてます。案の定、日本代表は、全敗でした。

実は、人は見た目でする気が上がることがあります。ですから、見た目や形を振り返ってみることもとても大切なことです。

まず、きちんとした服装で過ごせてましたか。授業中は、良い姿勢で座れてましたか。いつも明るくやる気のある表情でいられましたか。はきはきとした返事やあいさつができていましたか。

ぜひ、こういうことも学級で振り返ってみてください。それが3学期の生活に生かせるようになると、ますますすばらしい吉井田小学校になると思います。

ではみなさん、3学期も元気に会いましょう。